

# 定例教育委員会会議録

(平成27年10月7日開催)

岡谷市教育委員会

# 定例教育委員会会議録

日 時 平成27年10月7日(水)

午後1時30分

場 所 市役所2階202会議室

署名委員 橋爪委員 小野委員

## 【次 第】

### ○ 開 会

### ○ 教育長報告

### ○ 議 題

#### 1. 岡谷市教育大綱(案)について【資料No. 1】

(教育総務課)

### ○ 報 告

#### 1. 岡谷小学校統合計画の取り組み状況について

(教育総務課)

#### 2. 平成26年度いじめの状況等の一部見直しについて

(教育総務課)

### ○ そ の 他

・行事等について

・その他

【次回開催予定】 11月4日(水) 定例教育委員会 13時30分 市役所6階 601会議室

#### 出席委員

教育委員長 草間 吉幸、職務代理者 倉田 啓子、教育委員 小野 繁男、

教育委員 橋爪 園美、教育委員 太田 博久、教育長 岩本 博行

#### 事務局(説明員)

教育部長 吉澤 洋人、教育部担当参事 橋爪 哲也、生涯学習課長 小坂 英之、

生涯学習課副参事 鮎沢 要一、スポーツ振興課長 小松 厚、教育総務課主幹 両角 秀孝、

教育総務課主幹 高橋 卓、教育総務課主査 伊藤 清和

## <会議録>

### ○開 会

草間委員長： 10月に入り、統合まであと6か月となります。子どもたちにとってより良い統合となりますようよろしくお願いいたします。

### ○教育長報告

朝晩めっきり寒くなり、とうとう気温が一桁台になる日も出てきました。子どもたちのなかには、半そで半ズボンで頑張っている子もいてさすがに風の子ですね。今年はインフルエンザの流行がないようにと願っておりますが、気候の変わり目や冬季の体調管理に十分留意したいと思います。それでは報告を3点申し上げます。

- 1 18回目の通学合宿が10月1、2、3日の三日間行われ、リーダーズ倶楽部の高校生を含めて82名の参加がありました。2回目以上の参加という子どもが多く、この通学合宿から得られるものが大変多いことを示しております。リーダーの率先遂行の姿も素晴らしく、こういった異年齢集団での活動の意義を改めて感じます。今後もこの事業を大事にしていきたいと思っております。
- 2 第9回の統合推進委員会が5日に行われました。詳細はこの後、事務局より報告がありますが、魅力ある新たな学校創りに向け、一段と多くの皆様のご支援とご協力をいただき感謝しているところであります。とりわけ、主人公である子どもたちの新たな学校に向けての意気込みが強くなっている点が心強いところです。今後、3学年交流会や神明小フェスティバルなどを通じて、一層絆が深まっていくことを期待しております。
- 3 市立図書館の庭にあるポポーの樹が芳香な実を今年も実らせましたが、岡谷市民病院の建設に伴う図書館周辺の整備も順調に進み、図書館への通路も見違えるほどすっきりとしました。図書館内外の環境整備にこれからも努め、市民の皆さんの憩いの場や文化の殿堂としての役割が果たせるようにと考えております。ぜひ皆さんも図書館に足を運んでいただき、お気づきの点を教えていただければ幸いです。 以上です。

草間委員長： ただいまの内容で質問等ありますか。  
よろしいでしょうか。それでは、本日の議題に入りたいと思っております。

### ○議 題

#### 1. 岡谷市教育大綱（案）について【資料No. 1】 （教育総務課）

<事務局より資料 No. 1 に基づき前回の委員会での意見を踏まえて5ページの家庭の力の充実といった部分を、人づくりの根幹を担う家庭の力の充実というように修正を行った点などについて説明。また今後の進め方として、本日教育委員会として内容を承認いただければ、12月の総合教育会議に諮っていく旨を説明。>

橋爪委員： 5ページの家庭の力の部分については、ほぼ提案したままのフレーズを載せていただいたので、みなさんのご意見もいただければと思います。この内容を提案するにあたって、私が参考にした資料がありますので、ご覧ください。

採択された家庭科の教科書に家庭の機能について学ぶというページがあり、そこに家庭の機能についてきれいに整理されていまして、前回みなさんにもご意見を出していただいたときにも、みなさんの頭の中にはこのようなイメージがあったのかなと思えました。それぞれご家庭でどんなところに力を入れるのかという部分は多岐にわたりますし、具体的にどんなというものをここから持ってくるのは難しいと感じました。その上で、これらをまとめて、とにかく根幹を担う家庭が大事だという意味合いを出せば良いな

と思い、このようなフレーズを考えました。

小野委員：素晴らしいと思います。

倉田職務代理：コミュニティスクールについても読む方にわかるように書かれていて良いと思います。

太田委員：こういう言い方があったのかと思いました。異論は全くありません。

草間委員長：これなら誰が見ても理解しやすい形になったと思います。

PTAの方からスタンダードカリキュラムなどわかりにくい言葉があるといった声もあったので、その辺もよく配慮されていると思います。

岩本教育長：橋爪委員にはとても良い言葉を選んでいただいたと思います。少しずつこの教育大綱が、市民のみなさんに自信を持ってお示しできるものになってきたと思います。

太田委員：確認ですが、岡谷版コミュニティスクールの説明の部分で「甲斐を感じる」という表現は通常使われるものでしょうか。

岩本教育長：私も同じ事を感じたのですが、使われるということですので、もし、みなさんが読んでいただいて違和感があるようでしたら同じような言葉で言い換えても良いのではと思います。

事務局：やり甲斐や生き甲斐を感じるといった表現の方が良いかもしれません。

太田委員：1ページ目の写真についてですが、5ページに図があると思いますが、元気に手を挙げている子の写真が真ん中、左が学校、真ん中に地域と交流している写真、右に家庭との写真といったようなレイアウトにして、図と連動してくるとイメージが沸くのかなと思います。それができればより良いのかなと感じました。

草間委員長：現在の写真のレイアウトにはどんな意図があるのでしょうか。

事務局：市の教育政策全体を捉えたときに、学校があり、文化、スポーツがあり、そして、市長が策定するというところでものづくりがあるといった写真のレイアウトになっています。

草間委員長：地域と家庭の写真が入ればというご意見ですよね。

事務局：どのような写真があるか再度選んでみたいと思います。

草間委員長：文章がとても読みやすくなりました。

事務局：読みやすいように配慮をしていますので、このような形は、これからの市の計画を策定するにあたって良い見本となるかもしれません。

橋爪委員：文章の端にこの文章はユニバーサルデザインに配慮しましたといったフレーズがあっても良いなと思います。

草間委員長：今、太田委員からいただいた2点の提案も考慮しながら、次のステップに進みたいと思いますが、今後のスケジュールはどんな感じでしょうか。

事務局：今後の日程ですが、11月27日（金）9時から総合教育会議を開催できればということで調整中です。

草間委員長：あとの内容はよろしいでしょうか。それではこれで本日、教育委員会として了解いただきまして、総合教育会議に臨みたいと思います。よろしいでしょうか。

## 【承 認】

草間委員長：それでは、この内容で進めて行きたいと思います。

## ○報 告

### 1. 岡谷小学校統合計画の取り組み状況について

(教育総務課)

<事務局より第9回統合推進委員会の内容として、統合後のグランドデザインの骨子や、校歌、校章の扱いと考え方や、岡谷田中小・神明小の学校説明会兼施設見学会等について説明。>

草間委員長：ただいまの説明についてご質問等ございますか。

小野委員：「だもんでプロジェクト」とはどのようなものですか。

事務局： 統合に伴う校舎の整備の際に、田中小のメタセコイヤを伐採することになりましたが、その木を利用して何かできないかと話をしていた時に、「だもんで」といった若手のまちづくりを考えるグループから、メタセコイヤを利用して記念品を作ったらどうかといったアイデアをいただきました。その事業の資金を捻出するために、クラウドファンディングといったものを活用して、目標200万で寄附を募っているところです。寄附額に応じて記念品のお返しもすることにしています。最終的には統合校に掛け時計を置きたいといった企画です。

ただ、これが今非常に伸び悩んでいます。またご覧いただきながらわからないことがあれば「だもんで」の代表者等にお問い合わせいただければと思います。この制度は、寄附目標額を達成しないと集めたお金は返金するといったものです。

草間委員長： 校歌校章の委員にどういった方が入るかというのは、3月頃に決まってくるのですか。

事務局： これは学校が主体で行われることですが、地域に関わる人が中心になると思います。

草間委員長： 新しい校歌をつくるということは決定なのですか。

事務局： その方針をここで出していただいたこととなります。まさに新聞報道のとおりですが、ただ、これから関係者を交えていろんな話が出てくると思いますので、慎重に決めていくことになると思います。変えたいという方針は先生方にはあるようです。新しい学校をつくるんだという意味では必要な取り組みだと思えます。

草間委員長： 次の統合推進委員会は11月頃ですか。

事務局： 11月中を予定しています。

草間委員長： 他にございますか。無いようですので、この件についてはよろしいでしょうか。それでは、報告事項2に移ります。事務局より説明をお願いします。

## 2. 平成26年度いじめの状況等の一部見直しについて

(教育総務課)

<文部科学省よりいじめの認知件数の捉え方について一部見直しの通知があり、見直しの経過と、見直し後の件数等について説明。>

草間委員長： ただいま、見直し後の新たな人数の報告がありましたが、これについて何かご意見はございますか。

小野委員： なかなか学校の先生サイドで訴えられても、いじめという認知をしていないという感覚に見えますが、そんな捉えで良いのですか。

事務局： 中学生はもしかしたら学級担任に直接気づいてもらうことが難しい、中学生ならではの学級担任との関係性もあるのかなと思います。ただ、本人が訴えて発見したのが多い点から、しっかり訴えをしていると捉えられる気もします。

小野委員： 子どもから相談はしたけれど、それを先生がいじめとしてあげていないのではと感じる部分があります。

橋爪委員： 通達があってもあげにくい部分もあると思います。私はスクールカウンセラーの立場であるので、よくわかりますが、いじめだけで捉えられない複雑な要素が絡み合っている場合に、いじめという拾い方が難しい部分があると感じています。学校の先生についてもそうではないでしょうか。ある角度ではいじめにも捉えられるが、それをいじめというところから手を付ければ良いのかわからない状況になり、家庭や発達の問題が入り組むなかで、それをいじめとして明確にカウントしにくい状況があると思います。

小野委員： 例えば、暴力的な態度で友達に接することがあるが、それが、その子の背景に問題があって発散をする場がないという点から、単なるいじめとは取られにくいということですか。

橋爪委員： はい。やられた方としてはいじめられたとなりますが、加害側の様子を見ると単純にいじめにカウントできないと言う部分もあるかと思えます。対応する方の感覚的な部分もあるかと思えます。

小野委員： その人の感じ方で違うと思いますが、感じる方の立場で重点的に拾うべきなのでしょうか。

事務局： 学校に説明をさせていただいた時にいじめの認知について適切に判断をするということはもちろんですが、どういう内容で適切に指導をしたか、その後はどうか、いじめであろうと無かろうとそういったところをきちんと指導をしてほしいという話しをしているので、そういった面では共通になっているかなと思います。いじめと捉えるか捉えないかではなく、嫌な気持ちにさせる言い方は良くなかったよね、みんなで非難するのは駄目だよねといったことをもう一度あたり直しましょうと。私どもとしてはそういったスタンスであれば良いのかなと感じました。

岩本教育長： いじめを本当にしようとする子は先生達がいなくてやる。ですので、先生達が直接発見することは難しい。いじめが巧妙になっていて、凶悪なものが増えているのが事実です。発見できなくても、子どもが先生に嫌だよと言っていける環境づくり、関係づくりが大事なので、岡谷市の先生方には特にそういった関係づくりをしっかりとやっていただきたい。あるいは、子どもが仲間に対して嫌だと言えるといった人間関係力ということも大きな要素になると思います。数値を謙虚に受けとめて、いじめをなくすための取り組みをしていかないといけないと思います。

倉田職務代理： ただの見直し作業だけでなく、一人一人の子どもたちをしっかりと見ようという動きにつながればと思います。

岩本教育長： 子どもがいじめられたという思いを持って訴えたのであれば、学校はカウントをして、そういう姿勢で私は良いと思います。その訴えをしっかり受け止めるなかでいじめとして支援をしていく。文科省はグレーゾーンでも報告をしてみんなでそのことについて知恵を絞って対応していくことが大事だよということで通知が出ていると思います。

草間委員長： 非常に難しい問題だと思いますが、岡谷市としても早い段階から取り組むという姿勢を出して行くということですよ。この件につきましては、以上でよろしいでしょうか。他に事務局から報告はありますか。  
無いようですので、その他について事務局より説明をお願いします。

## ○その他

- ・行事等について（各課）

<各課より行事予定について説明>

- ・その他

<次回開催日の調整等>

草間委員長： その他にございますか。本日子定していた内容は以上となります。

これをもちまして、10月の定例教育委員会を終了とします。

終了15時35分

岡谷市教育委員会会議規則第23条により署名する。

平成27年11月4日

署名委員

橋爪園美

署名委員

小野繁男

調製職員

吉澤洋人